

科目名		学年	単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位	
英文法Ⅱ: English GrammarⅡ		2ECB	2	90分×30回	履修	演習・通年	—	
教員名		菅原 剛 : SUGAWARA Tsuyoshi						
授業概要	英語でコミュニケーションができる人の脳の中には、英語に関する一定量の<語彙>に加え、それらを駆使して英語を使いこなすための<文法に関する知識>が備わっている。本授業では、英文法Ⅰを土台とし、英語を使うためのマニュアル(取扱説明書)である英文法をさらに深く理解していく。英文法は決して無味乾燥で役に立たないものでもなければ、丸暗記をしなければならない厄介なものでもない。現在、英語が国際共通語として国境を越えて様々な国々で使われているという事実は、数ある言語の文法の中でも、英文法が我々人間にとって“使いやすい”文法であることを示している。本授業を通じて英文法の基本を体系的にマスターし、英語が理解できる楽しさをぜひ体感してほしい。							
	到達目標			評価方法				
(1)「品詞」、「語・句・節」、「文型と修飾語句」といった英文法の基礎の基礎を十分に理解し、それらを駆使して英文を読み書きできるようになる。 (2) 英文法の重要項目に関する理解を深め、それらを駆使して英文を読み書きできるようになる。 (3) 授業と自主学習の連携を図り、英語学習を継続して行えるようになる。			前期:①中間試験(40%)、②期末試験(40%)、③口頭試験(20%) 後期:①中間試験(40%)、②期末試験(40%)、③夏休み課題テスト(10%)、④口頭試験(10%)					
学習・教育目標		(G)②		JABEE基準1(1)				
授 業 計 画	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	第1	英文法Ⅰの復習	英文法Ⅰの重要事項を復習する。		第16	関係詞	関係詞について説明し、問題演習を行う。	
	第2	英文法Ⅰの復習	英文法Ⅰの重要事項を復習する。		第17	関係詞	関係詞について説明し、問題演習を行う。	
	第3	英文法Ⅰの復習	英文法Ⅰの重要事項を復習する。		第18	関係詞	関係詞について説明し、問題演習を行う。	
	第4	英文法Ⅰの復習	英文法Ⅰの重要事項を復習する。		第19	関係詞	関係詞について説明し、問題演習を行う。	
	第5	英文法Ⅰの復習	英文法Ⅰの重要事項を復習する。		第20	仮定法	仮定法について説明し、問題演習を行う。	
	第6	動名詞	動名詞の働きについて詳しく説明する。		第21	仮定法	仮定法について説明し、問題演習を行う。	
	第7	〃	動名詞の様々な形について説明し、問題演習を行う。		第22	仮定法	仮定法について説明し、問題演習を行う。	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。		第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を実施する。	
	第9	分詞	分詞の2用法を説明し、問題演習を行う。		第24	名詞構文・無生物主語	名詞構文・無生物主語について説明し、問題演習を行う。	
	第10	〃	分詞構文について説明し、問題演習を行う。		第25	名詞構文・無生物主語	名詞構文・無生物主語について説明し、問題演習を行う。	
	第11	比較	原級を使った比較に関して説明し、問題演習を行う。		第26	冠詞・名詞・代名詞	冠詞・名詞・代名詞について説明し、問題演習を行う。	
	第12	〃	比較級を使った比較に関して説明し、問題演習を行う。		第27	形容詞・副詞	形容詞・副詞について説明し、問題演習を行う。	
	第13	〃	最上級を使った比較に関して説明し、問題演習を行う。		第28	前置詞	前置詞について説明し、問題演習を行う。	
	第14	〃	比較を用いた様々な表現を概観し、問題演習を行う。		第29	接続詞	接続詞について説明し、問題演習を行う。	
第15	前期のまとめ	前期既習事項の総復習を行う。		第30	まとめ	学習事項全体のまとめと授業評価アンケートを実施する。		
自学自習の内容		授業の予習・復習および授業で出された課題						
関連科目		英文法Ⅰ						
教科書		総合英語フォレストForest 6th edition: Framework English Grammar in 23 Lessons(桐原書店)						
参考書		総合英語フォレストForest 6th edition(桐原書店)						
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを実施する。						
副担当教員								
備考		既習内容を復習してから授業に臨むこと。また辞書とノートを毎回必ず持参すること。						